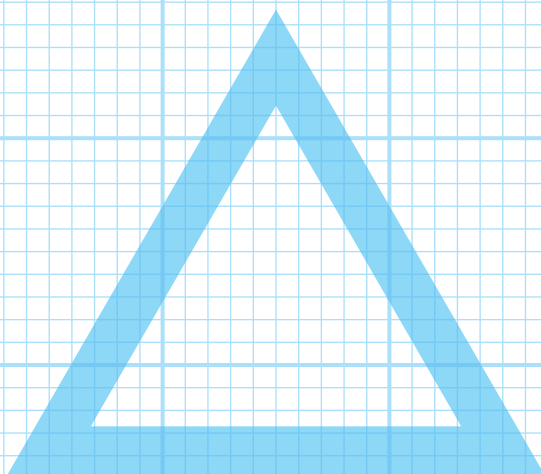


藥劑の飲用は止み電氣針を以て苦痛無く局部に藥液を注射した顯微鏡とエックス光線の發達によりて病源を摘發して之に應急の治療を施すこと自由なるべしまた内科術の領分は十中八九まで外科術に移りて後には肺結核の如きも肺臟を剔出して腐敗を防ぎバチルスを殺すことを得べし而して切開術は電氣によるを以て毫も苦痛を與ふること無し

要約

医術の進歩により藥劑の飲用はなくなり電氣針により苦痛なく局部に藥を注射し、また顯微鏡とエックス線の發達により病原を發見しこれに應急の治療を施す事が可能となる。外科の領分が増大し肺結核も肺を摘出して腐敗を防ぎ、バチルスを殺す事が可能。切開の苦痛も電氣メスにより無くなる。



〈解説〉

薬は相変わらず飲んでいるどころか100年前より多いのではないのでしょうか。病院に行くとびっくりするほどの薬を処方してくれます。注射は現在もやはり痛いですね。顕微鏡とエックス線は発達してきました。顕微鏡は病原の発見、エックス線は治療に大いに役立っています。

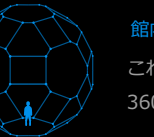
現在、肺結核の治療は、そのほとんどが薬物療法です。3~4種類の薬剤を併用して服用します。服用期間はおよそ6ヶ月~1年です。結核は当時は国民病と呼ばれ、1950(昭和25)年までは死亡率第1位でした。結核予防法が1951(昭和26)年に制定され、抗生物質を用いた化学療法の普及などによって激減し、2007(平成19)年に廃止されました。しかし、現在でも約2万5千人以上が発症している感染症です。

バチルスとは棒状の菌の総称。電気メスは人体に高周波電流を流して、このときの負荷もしくは接触抵抗によってジュール熱が発生し、この熱が瞬時に細胞を加熱し爆発・蒸散することによって切開作用を、細胞の水分を蒸発させタンパク質を凝固させることによって凝固作用を生じさせます。現在の医療現場では最も一般的な電子医療機器(ME機器)のひとつになっていますが、やはり痛みはあるので麻酔をします。

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.